教育事務所だより
南北300kmの教育

鹿児島教育事務所
第１号
平成30年7月12日発行

「夢をかなえる学校」への期待～年度当初学校訪問

年度当初の学校の現状を把握するため，４月から５月にかけて，本地区内全域（日置市，いちき串木野市，三島村，十島村）の小・中学校を訪問させていただきました。

各学校では，子供たちの夢の実現に向けて，学力の向上，心の居場所づくりや絆を実感できる学級づくり，たくましい体を育むための教育活動が展開されていました。

将来の予測がますます難しくなるこれからの社会を生き抜く子供たちを育てるために，様々な人々と協働しながら，自ら問いを立て解決に繋げていく教育活動が，更に充実していくことを期待する年度当初の学校訪問でした。

本年度開校した日置市立日吉小学校

「学びの組織活性化」推進プロジェクトがスタート！

本年度から各学校の組織的かつ総合的な学力向上に向けた取組の充実や「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を充実させるために「『主体的・対話的で深い学び』の実現による学力向上プログラム」が始まりました。

その学力向上プログラムの重要な柱の一つとして，学校の「学びの組織活性化」推進プロジェクトが位置づけられています。本プロジェクトでは，教育事務所単位の実践校，市村単位のモデル校として小・中学校を指定し，校内研修を通して学校の学力向上推進体制の整備を図ったり，「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した研究授業・授業研究を行ったりしています。

今年度は，実践校として日置市立伊作小学校，いちき串木野市立串木野中学校，モデル校として日置市立伊集院中学校，いちき串木野市立串木野西中学校，三島村立三島中学校，十島村立中之島中学校を指定し，研究を深めているところです。

校内研修の様子

コアティーチャーネットワークプロジェクト

６月８日（金），日置市中央公民館を会場に第１回コアティーチャーネットワークプロジェクト部会を実施しました。この会は，地区内の先生方とチームを設置し，モデル授業の構築等に取り組むことで，より質の高い指導力を身に付けることをねらいとしています。今年度は，管内の小学校14人，中学校12人の先生方を委嘱し，国語，算数・数学，外国語活動・外国語科の基本的な学習過程と平成29年度鹿児島学習定着度調査結果に落ち込みの見られた単元のモデル授業づくりに取り組んでいるところです。

協議の様子

フレッシュ研修（初任校研修）

本年度，日置地区には，小学校に3人，中学校に3人，計6人が新規採用教員として赴任しています。5月22日（火），妙円寺小学校と伊集院中学校を会場に教科指導の研究授業研修を実施しました。先輩教員による授業の参観や初任者代表の研究授業及び授業研究等を通して，新任教員としての資質向上を図り，実践意欲を高めました。

今後は，7月に県立南薩少年自然の家で宿泊研修，10月に東市来中学校で道徳の研究授業研修，1月に串木野小学校で特別活動の研究授業研修を実施する予定です。

研究授業の様子

鹿児島地区人権教育授業実践研修会

６月13日（水），日吉小学校を会場に，児童生徒の人権尊重の精神の高揚を図るため，地区内小・中・高校等の人権同和教育担当者約40人を対象とした研修会を実施しました。県教育庁人権同和教育課による「自他の大切さを認めることができる子どもたちを育成するために」を演題とした講話では，チーム学校でつくる人権教育の重要性を再確認することができました。また，６年生の部落問題学習を取り上げた社会科の提案授業の参観等も行われ，大変充実した研修となりました。

これからも各学校ににおいて，人権教育の推進・充実を図ってほしいと思います。

授業での発表の様子

日置地区小・中学校道徳教育研修会

７月５日(木)，いちき串木野市立生福小学校，生冠中学校において，地区小・中学校道徳教育研修会を開催しました(参加者108人)。「特別の教科　道徳」が，小学校では今年度から，中学校では来年度から実施となります。両校とも特定の価値を押し付けるのではなく，子供一人一人が考え，議論することで多様な考え方や感じ方に接し，よりよい生き方を試行していく道徳の授業が展開されており，大変有意義な研修会となりました。今後も各学校において道徳教育の充実をお願いします。

役割演技の様子

日置・鹿児島郡地区 特別支援連携協議会

６月８日（金），日置市中央公民館にて，障害のある児童生徒に対する教育支援体制の整備・充実を図るため，地区内の福祉，医療労働等の関係部局，小･中･高校，特別支援学校等約30人の関係者による協議会を開催しました。会では，関係事業所の事業説明の他，分科会で各市村の進捗状況の報告や課題等の意見交換が活発に行われ，特に，機関を越えた連携の重要性が話題となりました。

会議の終わりには，特別支援教育の充実に向けた取組を，更に積極的に推進することを参加者全員で確認することができました。

全体会の様子

子供たちの安全は地域ぐるみで ～スクールガード・防犯ボランティア等研修会～

５月26日（土），日置市伊集院総合体育館において，スクールガード・防犯ボランティア等研修会を開催しました。スクールガードリーダーや学校の教職員，保護者等，60人を越える参加者があり，保健体育課や日置警察署による講義，ALSOKによる実技指導に熱心に取り組みました。

安全・安心な学校づくり，街づくりのために，今後も学校と地域が連携を図りながら，見守り活動の充実をお願いいたします。

ALSOK　実技訓練

涼風

「できる人が、できる時に、できることを」

鹿児島教育事務所　所長　荒田　修

先祖代々の墓は、数十段の階段と急な坂道を上った小高い山の上にある。実家の父が主に管理してきたが体力的に困難になり、数年前から自分が月一回は墓掃除に行くようにしている。もっと頻繁に行ければいいのだが、距離的に離れていることもあり、今のところ自分にできるのはこれが精一杯である。

掃除道具を車に積み、途中でお供え用の花を買い、二時間かけて到着。一ヶ月ぶりの墓は、落ち葉が積もっているだけでなく、竹が倒れていたり、木の枝が折れていたりと、かなり荒れている。ご先祖様にも申し訳ないと思いながら、掃除に取りかかる。冬場は寒さに震え、夏は暑さと蚊の大群に耐えながら、三時間近く作業する。きれいになると気持ちがいいし、少しは自分も役に立ったかなと思ったりもする。

ある時、教員を退職された先輩にこの話をしたところ、表題の言葉を頂いた。「社会の中でよりよく生きよう、よりよい社会にしよう」とするのは、人間の本来もっている特性であると言われている。また、「社会貢献できる人材を育てる」ことが、我々教員の役目だとも言われる。しかし、世の中の役に立つことが、いつでも誰でもできる訳ではない。そううまくいかないことも多いのが人間だ。墓掃除だってそれでいいのだと教わった。それ以来何かにつけ、この言葉を思い出す。

今月も、ちょっとだけ、自分にできることを頑張ってみよう。